

みなさんこんにちは！
なんとみらいちゃんです。
今年度の南砺市の予算や財政
状況について、NANTOくん
といっしょにお伝えします。
よろしくね！

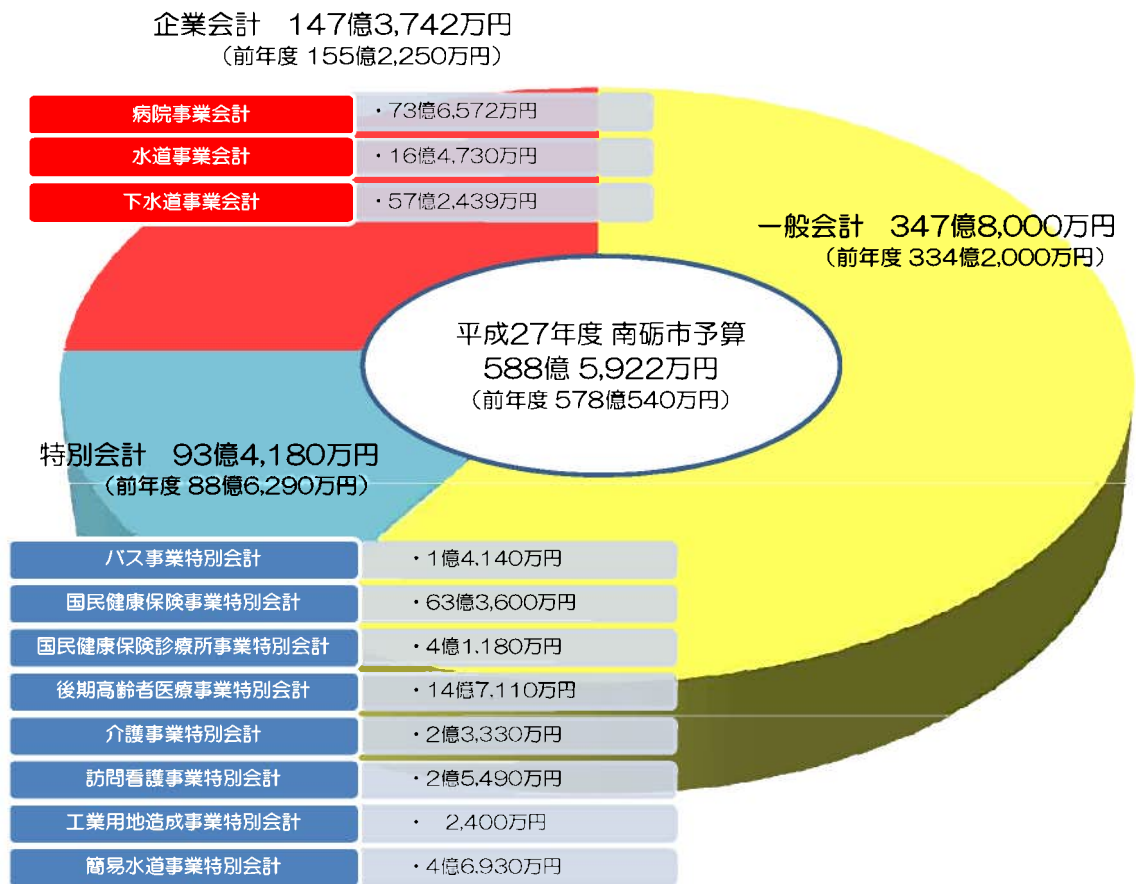


NANTOくんです。
南砺市の財政について紹介す
るよ。
じゃあ、さっそく平成27年
度の予算額からみてみよう！



Q南砺市の今年の予算額は？

一般会計・特別会計・企業会計合わせて588億5,922万円となっています。



南砺市の中にも、
いろいろな会計が
あるんだよね！

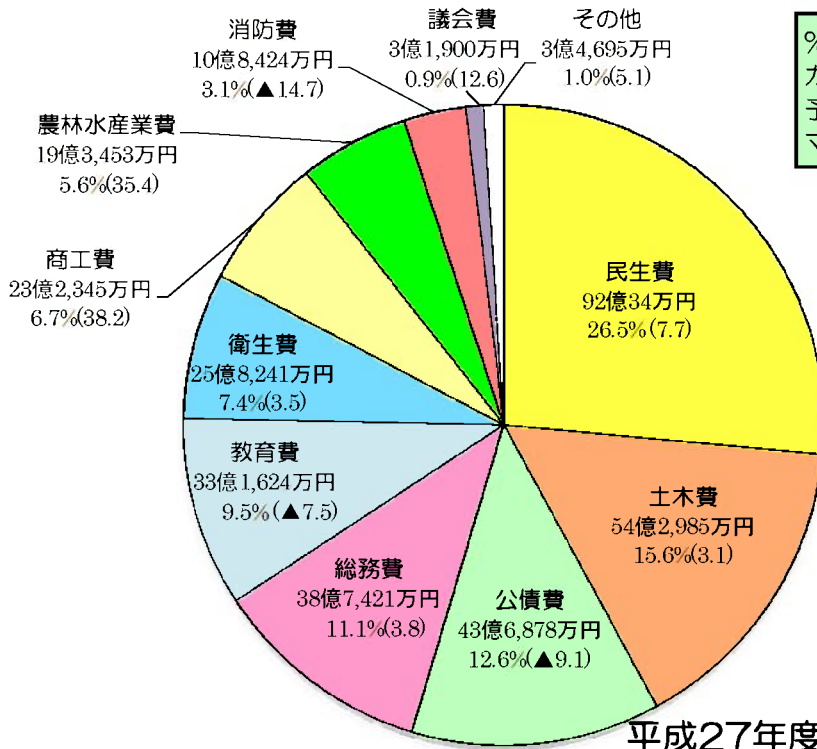
そうだね。事業運営の性質によっ
て、会計を分けているんだよ。
詳しくは下を見てね！



- 「一般会計」とは、市の基本的な仕事のための会計です。市民の皆さんに納めていただく市税や、国・県からの補助金などが財源となります。
- 「特別会計」とは、特定の収入（使用料や保険料など）がある事業について、収支を明確にするため一般会計から独立させた会計です。
- 「企業会計」とは、病院・水道・下水道など民間企業のように事業の収益で運営される会計です。



Q平成27年度一般会計予算347億8,000万円はどう使うの？



%の数字は構成比。
カッコ内の数字は26年度当初
予算額に対する伸び率(%)
マイナスは▲



平成27年度一般会計予算 歳出

平成27年度当初予算は、前年度当初に比べ13億6,000万円（4.1%）増えているよ。
 予算が増えた理由としては、定住推進や、金沢井波線バス運行調査などまちづくりの指針となる総合計画の「仕上げ」に向けた事業に取り組むこと、保育園保育料軽減やすこやか親子支援事業など、「地方創生」に関する施策に取り組むことが挙げられるよ。
 それから、（仮称）福光東部統合保育園整備や井波小学校大規模改修事業、また、（仮称）クリエイタープラザ建設や井波地域大型貯水槽建設、（仮称）地域包括医療・ケアセンター建設などの大型建設事業に着手することも予算が増えた要因だね。



フムフム…でもやっぱり金額が大きすぎてよくわからな～い。

イメージしやすいように市民1人当たりの金額にしてみたよ！

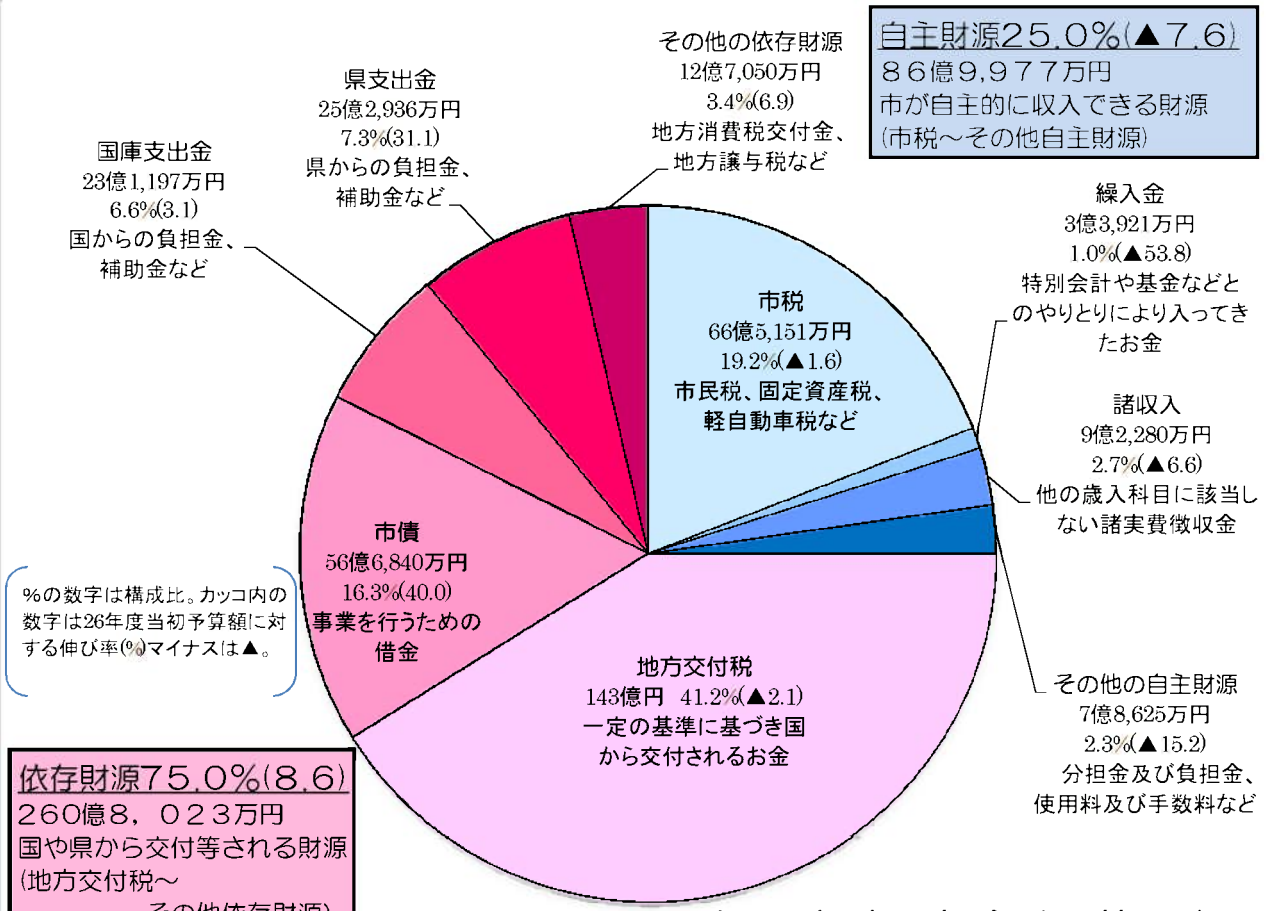


※資料総の平成27年度人口は、平成27年1月末住民基本台帳人口の53,722人としています。

市民1人あたり予算 64万7千円 <p>次は内訳だよ！</p>	民生費 子どもや高齢者、障害者など市民の福祉に使います。 17万1千円	土木費 道路や公園、河川の整備や維持管理に使います。 10万1千円	公債費 市の借金の返済に使います。 8万1千円
総務費 市役所の全般的な運営に使います。 7万2千円	教育費 小中学校や文化・スポーツ・生涯学習など教育に使います。 6万2千円	衛生費 市民の健康のために使います。 4万8千円	商工費 商工業の発展のために使います。 4万3千円
農林水産業費 農林水産業振興に使います。 3万6千円	消防費 消防署や消防団に使います。 2万1千円	議会費 市議会の運営に使います。 6千円	その他 災害復旧費・労働費・諸支出金・予備費 6千円



Q一般会計にはどんな収入があるの？



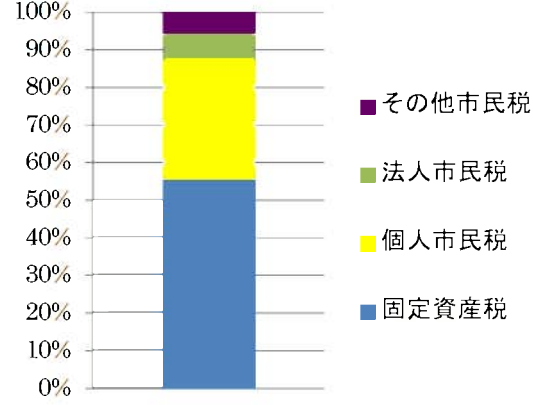
平成27年度一般会計予算 歳入

おもな収入として、市民の方に収めて頂く市税、一定の基準によって国から交付される地方交付税、国や県から特定の事業に交付される国庫支出金・県支出金、事業を行うために銀行などから借りる市債などがあるよ。

南砺市は、市税など市が自分で調達できる自主財源が約25%しかないんだ。それに対して、国や県から交付される依存財源が約75%となっていて、収入の大部分を依存財源に頼っている状態なんだよ。

たしか…税金にもいろいろな種類があるんだよね。

そうそう。何に対して税金をかけるかによって、種類が分かっているんだよ。市税の内訳は下を見てね。



- Q市税の内訳は？
- 土地や家を持っている個人や法人に課税される固定資産税 36億6,899万円
 - 市民の皆さんに負担していただく個人市民税 21億6,098万円
 - 市内の会社(法人)の収入などに応じて課税される法人市民税 4億2,997万円
 - その他に軽自動車税や市たばこ税、入湯税があります。 3億9,157万円

○基金の残高



基金っていうのは貯金のことだよ。もう覚えてよ。エッヘン！
26年度末は増える見込みなんだね。

■南砺市の基金残高の推移



みらいちゃん、すごいね！将来の市債（市の借金）の返済や市民要望などに備えて貯金をしておくんだ。26年度には、次代を担う子どもたちへの切れ目ないサービスの提供を目的とした「すこやか子育て基金」を創設したこともあり、基金総額は26年度末に約8億4千万円増える見込みだよ。
27年度は過疎地域振興のための基金や国際交流を推進するための基金など、全体で約3億4千万円使う予定だよ。基金にばかり頼らないで長期的に歳入と歳出のバランスをとることが大切だね。



・財政調整基金

不況による大幅な税収の減少や、災害などによる支出の増加に備え、余裕のある時にお金を貯めておく基金です。27年度当初予算では、歳出に対する財源の不足により2億3,730万円を取り崩す予定です。

・減債基金

市債（市の借金）の償還を計画的に進めるためのものです。

・特定目的基金

市の施設整備や国際交流など特定の目的の為に資金を積み立てるものです。27年度当初予算では、それぞれの基金目的にあった事業の財源として合計で1億191万円を取り崩す予定です。

・定額運用基金

奨学金の貸付、公共用地や美術品の取得のために一定の資金を運用するためのものです。

○平成26年度末借入金残高見込

全会計

855億5,966万円

(前年度

850億5,148万円)

市民一人あたりの借入金額

159万円

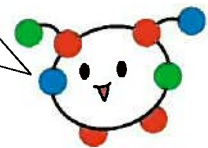
事業の厳選による借入額の抑制、繰上償還の実施などにより適正な借入金残高の維持に努めてきました。これまで実施してきた学校耐震化や統合保育園整備は平成27年度で事業完了となりますが、今後は小中学校の大規模改修等が控えており借入金残高の増加が見込まれます。



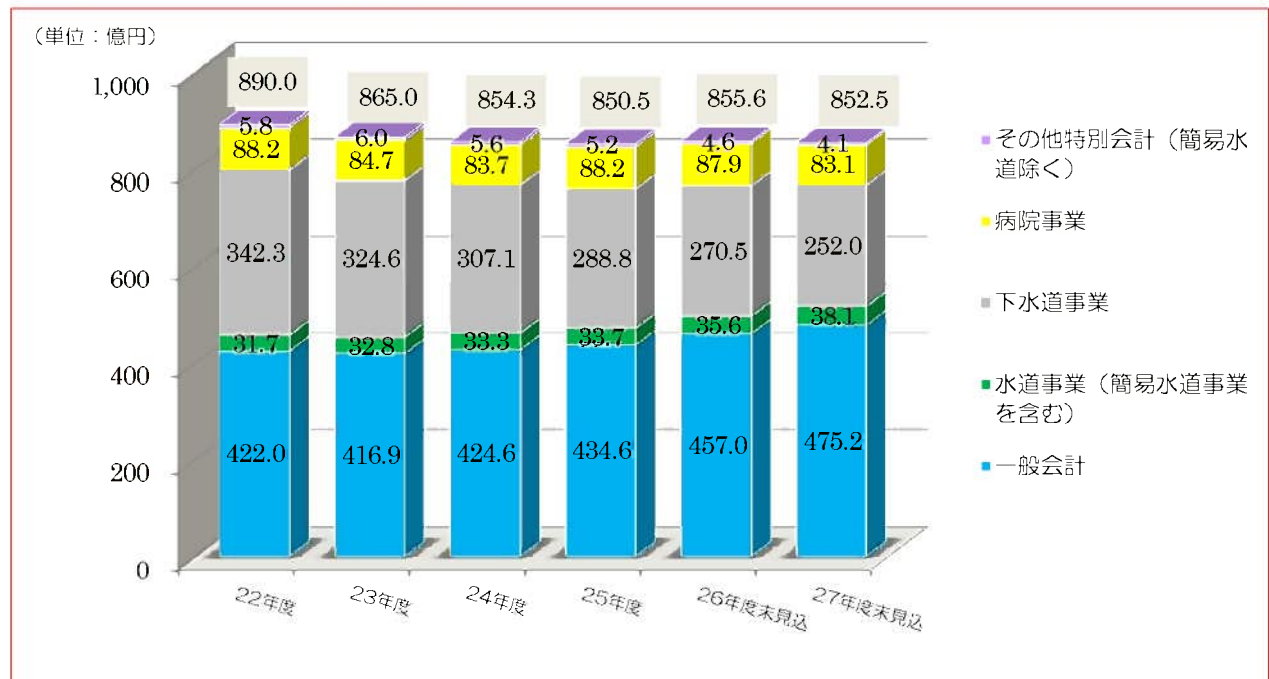
「市債」って借金なんでしょ？南砺市は貯金(基金)があるのに、どうしてわざわざ借金をするの？

市は、学校や保育園、文化・スポーツ施設や道路などを整備する時に市債を発行しているよ。

これは、整備された施設がこれから生まれてくる人たちも利用することになるから、その人達にも公平に負担してもらう意味もあるんだ。



■南砺市の借入金残高の推移



○借入金残高(平成26年度末)のうち、市が実際に負担する額

市が借り入れるお金の中には、国が補助金などで市に支払うべきお金も含まれており、その場合は返済するお金の一部が「地方交付税」として国から市に交付されます。

一般会計では、交付税で措置される借入を厳選し、借入後、市民が負担する返済額の軽減に努めています。一方、病院、水道などの公営企業会計や市営バスなどの特別会計は、借り入れたお金を利用料収入(診療報酬や水道・バス料金など)で返済することになっています。

	平成26年度末借入残高	うち、市民が返済する額
一般会計	457億 189万円	115億6,258万円 (25.3%)
病院事業	87億8,940万円	65億7,111万円 (74.8%)
水道事業(簡水含む)	35億6,495万円	28億4,186万円 (79.7%)
下水道事業	270億4,652万円	136億9,155万円 (50.6%)
その他特別会計	4億5,690万円	3億1,192万円 (68.3%)

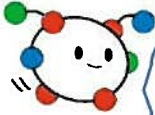
※ 借入金の返済に対して国から「地方交付税」として交付される額は、およその目安として計算しています。

財政指標からみる南砺市

平成25年度決算



NANTOくん、南砺市の財政は他の市町村と比べると、どうなの？健全かどうか教えて～！



財政力指数とは、標準的な行政費用（支出）に対する標準的な収入の割合を表しているんだ。

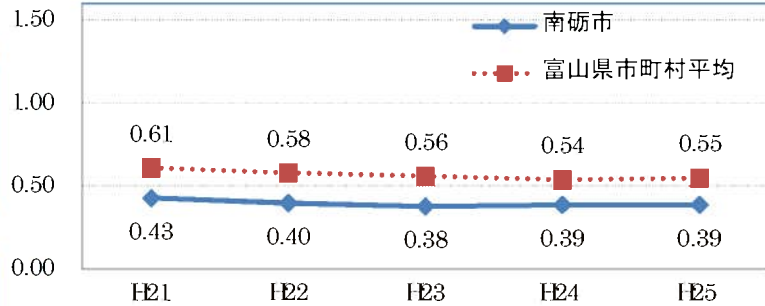


南砺市では、企業誘致や人口増対策へ引き続き取り組みながら、財政基盤強化に努めます。

財政力

値が大きいほうが、より健全

財政力指数 [0.39]



経常収支比率とは、市税や地方交付税などの毎年決まって入ってくるお金に対して、人件費や公債費などの毎年決まって出て行くお金の割合を表しているんだ。

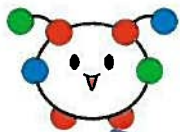
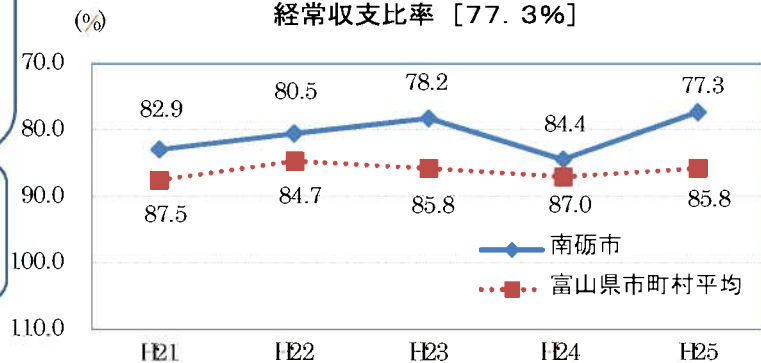


南砺市では、今後も引き続きコスト意識を持ち、職員数適正化や施設管理経費削減に努めます。

財政構造の弾力性

値が小さいほうが、より健全

経常収支比率 [77.3%]



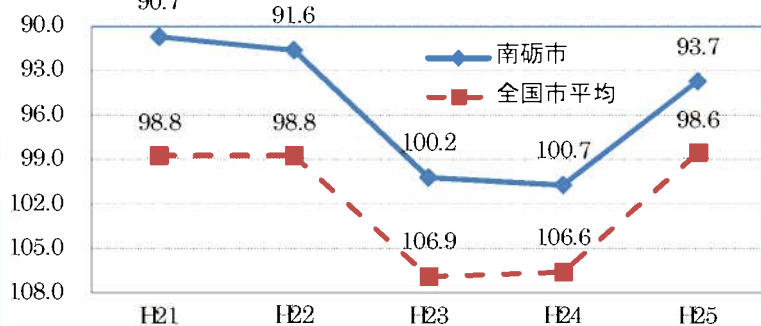
ラスパイレス指数とは、地方公務員の給与水準を表す指数で、国家公務員の俸給を基準(100)として、地方公務員の給与水準を表しているんだ。



H23、H24年度の値は、給与改定特例法による2年間の国家公務員給与削減の影響により高くなっています。

給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [93.7]



南砺市の財政状況を表す主な指標について、年度別決算を元に富山県平均と比較しました。
 (給与は全国市平均)
 これらは、市の財政の健全度合いを判断するために重要な指標です。

公債費負担の状況

値が小さいほうが、より健全

※総務省より公表されている数値のみ掲載しています。

実質公債費比率 [8.1%]

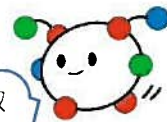
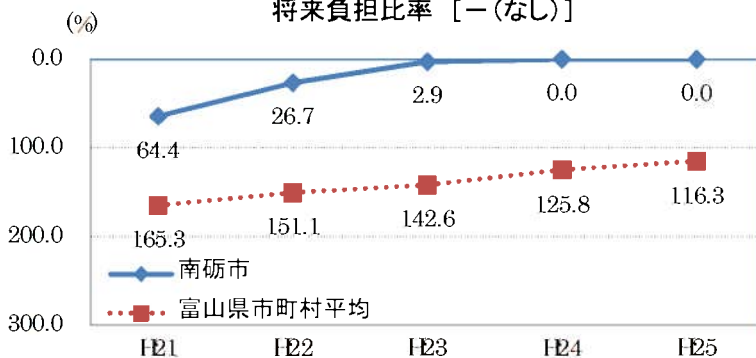


実質公債費比率とは、収入される財源に占める借金返済の割合を表しているんだ。

将来負担の状況

値が小さいほうが、より健全

将来負担比率 [- (なし)]

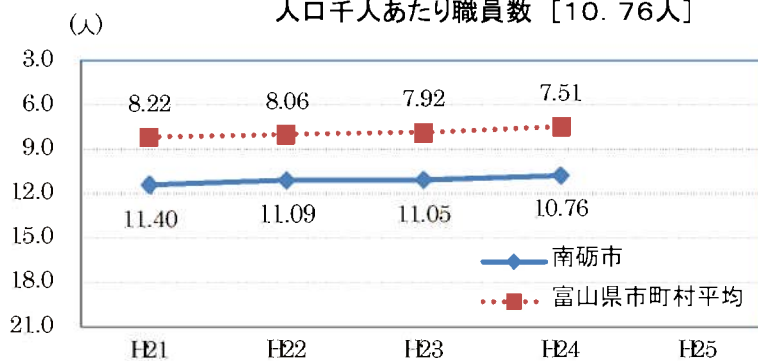


将来負担比率とは、収入される財源に占める将来負担すべき負債総額の割合を表しているんだ。

南砺市は借金残高が少ない訳ではありませんが、その返済に充てることができる貯金や、返済を国が補う(普通交付税として交付される)額が多いため、将来負担はありませんでした。

定員管理の状況

人口千人あたり職員数 [10.76人]



南砺市では、組織体制の見直し等の職員数の適正化を計画的に進めています。

財務書類からみる南砺市

平成25年度決算

貸借対照表

H26.3.31現在

貸借対照表とは、南砺市が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産を形成してきた財源（負債、純資産）を左右で対照表示したものだよ。

資産には、市有施設や土地などの固定資産や基金、現金、預金などを計上し、負債には、将来償還や負担すべき地方債などを計上し、純資産は、国県補助金や一般財源を計上しているんだ。

＜資産の部＞		＜負債の部＞	
1. 公共資産	1,839億8,860万円	1. 固定負債	447億8,621万円
(1) 事業用資産	896億6,069万円	(1) 地方債	392億8,166万円
(2) インフラ資産	942億8,436万円	(2) 退職手当引当金	55億455万円
(3) 売却可能資産	4,355万円		
2. 投資等	240億9,573万円	2. 流動負債	44億7,254万円
(1) 投資及び出資金	111億1,093万円	(1) 翌年度償還予定地方債	42億2,669万円
(2) 貸付金	7億5,321万円	(2) その他	2億4,585万円
(3) 基金等	120億5,032万円		
(4) その他	1億8,127万円	負債合計	492億5,875万円
3. 流動資産	150億1,248万円	＜純資産の部＞	
(1) 資金	64億6,544万円		
(2) 減債基金等	84億9,895万円	純資産合計	1,738億3,806万円
(3) 未収金	4,809万円		
資産合計	2,230億9,681万円	負債及び純資産合計	2,230億9,681万円

南砺市普通会計の資産総額は、約2,231億円で、住民一人当たり約412万円の価値があるんだ。また、この資産を形成するための負債が、地方債など約493億円あり、住民一人当たり約91万円になるんだよ。南砺市普通会計の借金（地方債残高）約435億円のうち、約376億円は償還時に地方交付税へ算入されることを見込んでいるんだ。

南砺市財務書類による指標

南砺市の財務書類を分析し指標化したよ。これで財政状況が分かりやすく把握できるようになり、年度間の比較や他市との比較などをしながら、より健全な財政運営につなげることができるんだ。

○市民一人あたりの資産と負債

資産 412万円 →これまで形成してきた資産の価値(将来の住民が利用できる価値)です。

負債 91万円 →将来の世代が負担すべき債務です。

○純資産比率

77.9%

「純資産比率 = 純資産総額 / 資産総額」

将来世代も利用可能な資産を蓄積したか、現在世代が便益を受けたかという分析ができます。

○将来世代負担比率

18.9%

「将来世代負担比率 = (地方債残高 + 未払金) / (公共資産 + 投資等)」

社会資本の形成に係る将来世代の負担の割合を把握できます。

○行政コスト対公共資産比率

15.5%

「行政コスト対公共資産比率 = 経常行政コスト / 公共資産」

資産が効率的に活用されているかという分析ができます。

平成25年度末における南砺市普通会計（一般会計+バス事業特別会計）の財務書類を作成しました。これは総務省が示した「総務省改訂モデルに基づく財務書類作成要領」に則ったもので、資産や債務情報を一体的に把握しながら、健全な財政運営の指標として活用しています。



市民一人あたりでいうと・・・

○貸借対照表
・平成25年度

資産	412万円	負債	91万円
		純資産	321万円

○純経常行政コスト
・平成25年度

コスト	51万円
-----	------

（住民基本台帳人口
平成25年度 54,210人(平成26年3月31日現在)

行政コスト計算書

H25.4.1～H26.3.31

南砺市が一年間（4月1日～3月31日）で行う行政活動のうち、資産形成に結びつかない行政サービスに係るコストとその財源を対比したものだよ。

経常費用	285億6,258万円
1.人にかかるコスト	46億8,615万円 人件費、退職手当等引当金繰入など
2.物にかかるコスト	114億4,969万円 物件費、減価償却費、維持補修費など
3.移転支的コスト	119億3,248万円 社会保障給付、補助金など
4.その他のコスト	4億9,426万円
経常収益	7億3,223万円 使用料、手数料、分担金、負担金など
純経常行政コスト	278億3,035万円 (経常費用－経常収益)

平成25年度に南砺市が提供した資産形成に結びつかないサービスは約285億円だったんだ。一方、住民等から納められた利用料金等の収入が約7億円で、差引き約278億円を地方税や地方交付税などの一般財源でまかっているんだよ。



資金収支計算書

H25.4.1～H26.3.31

現金の出入り情報を3つの区分に分けて表示した財務書類だよ。
南砺市が、どのような活動にどのような財源を使ったか分かるんだ。

期首資金残高	19億403万円
1.経常的収支	97億4,900万円 人件費支出、税収入など
2.公共資産整備収支△	19億5,003万円 公共資産整備支出、地方債発行収入など
3.投資・財務的収支△	76億9,418万円 地方債元利償還支出、貸付金回収収入など
当期収支	1億479万円
期末資金残高	20億882万円

公共資産整備収支と投資・財務的収支の支出超過分を、経常的収支の収入超過分で補った結果、1億479万円を翌年度の財源として繰り越すことになったよ。



純資産変動計算書

H25.4.1～H26.3.31

貸借対照表の純資産の部が、一年間でどのように変動したかを表している計算書だよ。
総額の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したのか分かるんだ。

期首純資産残高	1,705億8,011万円
純経常行政コスト	△278億3,035万円 経常費用－経常収益
財源調達	311億3,187万円 地方税、地方交付税、国県補助金など
臨時損益	△3億9,631万円 災害復旧事業、公共資産除売却損益など
その他	3億5,274万円
期末純資産残高	1,738億3,806万円

約278億円の純経常行政コストに、地方税など約311億円が財源となったんだ。



これからもコスト超過にならない財政運営に努めます。





南砺市職員（一般職）の平成27年度人件費



会計区分	職員数(人)	給 与 費			共 済 費	合 計
		給 料	職 員 手 当	計		
一般会計	(8) 556	21億873万円	10億2,416万円	31億3,289万円	6億7,643万円	38億932万円
国民健康保険 事業特別会計	9	3,085万円	1,468万円	4,554万円	981万円	5,535万円
国民健康保険診療所 事業特別会計	16	6,824万円	5,557万円	1億2,381万円	2,181万円	1億4,562万円
介護事業特別 会計	17	6,379万円	2,654万円	9,032万円	2,040万円	1億1,072万円
訪問看護事業 特別会計	30	1億605万円	5,458万円	1億6,062万円	3,353万円	1億9,415万円
簡易水道事業 特別会計	2	618万円	409万円	1,027万円	197万円	1,224万円

区分	職員数(人)	給 与 費				法定福利費	合 計
		給 料	賃 金	職 員 手 当	計		
病院事業会計	425	14億6,646万円	5億6,886万円	10億2,994万円	30億6,527万円	8億2,477万円	38億9,004万円
水道事業会計	10	3,965万円	—	2,652万円	6,617万円	2,229万円	8,847万円
下水道事業会計	8	3,142万円	—	1,969万円	5,110万円	1,756万円	6,867万円

※ () 内は、短時間勤務職員数（外書き）

※四捨五入のため、内訳の計と合計が合わない場合があります。

【参考】南砺市定員適正化計画の進捗状況（平成18～27年度）

平成17年4月1日現在の職員数848人を基準として、平成18年4月1日から10年間で201人（24%）の削減に取り組んでいます。

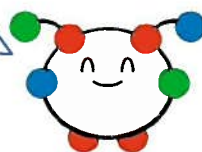
（単位：人）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
計画(A)	848	838	823	809	783	772	749	726	700	676	647
実績(B)		835	807	779	751	737	707	702	678	666	
(B)-(A)		△ 3	△ 16	△ 30	△ 32	△ 35	△ 42	△ 24	△ 22	△ 10	
対H17		△ 13	△ 41	△ 69	△ 97	△ 111	△ 141	△ 146	△ 170	△ 182	
進捗率		6.47%	20.40%	34.33%	48.26%	55.22%	70.15%	72.64%	84.58%	90.55%	

※定員適正化計画には、南砺市民病院・公立南砺中央病院の職員数は含んでいません。

（平成26年4月1日現在）

南砺市の財政について、みらいちゃんとお伝えしてまいりましたが、今回はこれでお・し・ま・い。補正予算や決算についてもHPや広報誌でチェックしてみてね。



え～！もうおしまい？！自分でもいろいろ調べてみようっと。来年もまたよろしくね♪